

小児歯科の研究発表 郡山

日本小児歯科学会秋季大会が2日、2日間の日程で、郡山市の市民文化センターで始まった。歯科医師や歯科衛生士の学術交流を目的に、1963年から毎年、全国各地で開催されている。今回は「小児歯科の今、そしてこれから」をテーマに、大学教授や開業医らが臨床現場での体験を交えて研究成果などを発表。さらに、東京医科歯科大学大学院の山田教授が、再生医療の現状と未来について「骨代謝の基礎と骨再生」と題して講演、歯科領域における骨再生療法の進展の必要性を説いた。

大会長の鈴木康生・奥羽大歯学部教授は「講演は、日々の治療に関する有意義な内容。若手からベテランまで、今後の治療の工夫の



講演する山田教授

参考にしてもらえれば」と話していた。